

## 製品名: IL-11R $\alpha$ ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab12489

研究使用のみ

### 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	45kDa

### 抗原情報

遺伝子名	IL11RA
別名	IL11RA; Interleukin-11 receptor subunit alpha; IL-11 receptor subunit alpha; IL-11R subunit alpha; IL-11R-alpha; IL-11RA
遺伝子 ID	3590.0
SwissProt ID	Q14626
免疫原	IL-11R $\alpha$ 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 300-380

### 背景

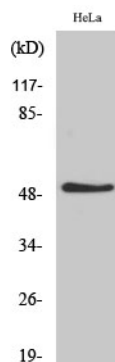
インターロイキン 11 は、間質細胞由来のサイトカインであり、多面的かつ重複性を持つサイトカインファミリーに属し、高親和性受

容体において gp130 伝達サブユニットを利用する。この遺伝子は、造血系サイトカイン受容体ファミリーに属する IL-11 受容体をコードしている。この受容体は、毛様体神経栄養因子と非常に類似しており、両者とも免疫グロブリン様ドメインとサイトカイン受容体様ドメインからなる 2 ドメイン構造の細胞外領域を有している。この遺伝子には、複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2012 年 6 月]、疾患：前立腺癌において IL-11 受容体レベルの上昇が認められる。、機能：インターロイキン-11 受容体。IL6、LIF、OSM、CNTF、IL11、CT1 の受容体システムは、シグナル伝達の開始に IL6ST を利用することができます。IL11/IL11RA/IL6ST 複合体は、骨格形成前駆細胞やその他の間葉系細胞の増殖および / または分化の制御に関与している可能性があります。、類似性：I 型サイトカイン受容体ファミリーに属します。タイプ 3 サブファミリー。、類似性：Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 1 つ含む。、類似性：フィブロネクチン III 型ドメインを 2 つ含む。、サブユニット：リガンド結合時に IL6ST/gp130 と多量体複合体を形成する。、組織特異性：骨髄性白血病細胞株 K562、巨核球性白血病細胞株 Mo7E、赤白血病細胞株 TF1、骨肉腫細胞株 MG-63 および Saos-2 など、多くの細胞株で発現する。また、正常および悪性前立腺上皮細胞株でも発現する。、

## 研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;Jak\_STAT;造血細胞系統;

## 画像データ



IL-11R $\alpha$  ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析